

消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404
FAX 984-4011

11月9日は「119番の日」 「慌てず」「はっきり」「正確」に

消防庁は、皆さんの防火・防災意識を高め、地域ぐるみの防災体制を確立することを目的に、昭和62年から11月9日を「119番の日」としています。

火事、交通事故、急病などは、いつ、どこで起こるか分かりません。その際に、いち早く消防職員が現場に駆けつけるために、119番通報をする時のポイントをご紹介します。



▶ 通報するときのポイント

- 1 「火事」なのか「救急」なのか、はっきり答える
- 2 正確な「場所」を答える
- 3 慌てず落ち着いて答える

消防（救急）隊が迅速に現場へ到着するには、災害内容や場所の正確な情報が必要です。通信指令員に聞かれた内容に、正確・簡潔に答えましょう。住所が分からない場合は、目印になるものを知らせてください。

※ 119番通報は、伊予市にある消防本部通信指令室で受け付けしながら、管轄の消防署に出動指令を出しています。すでに消防（救急）隊員は現場に向かっているため、電話を早く切ったとしても、早く到着するわけではありませんので、慌てず落ち着いて答えましょう。

▶ 応急処置にご協力を

状況によって、応急処置や避難誘導をお願いすることがあります。特に、意識・呼吸がない場合には、救急隊が到着するまでの応急処置がとて重要で、処置の方法は通信指令員が伝えますので、落ち着いて処置を行ってください。

▶ 携帯電話で通報するときは

◎ 運転をしながら通報しない

自動車などを運転しながらの通報は、大変危険です。走行中に火災や事故を発見した場合は、必ず安全な場所に停車してから通報しましょう。

◎ GPS機能が付いていても、場所は正確に答える

GPS機能が付いている携帯電話、スマートフォンからの119番通報は、ある程度の通報位置を把握することができます。しかし、その場所や携帯電話などの電波状況によっては、特定することが困難になります。住所や、目印になるものを正確に通信指令員に伝えましょう。

▶ 通報時によくある質問

Q 救急車のサイレンを鳴らさないで来てほしい。

A 救急車は緊急自動車です。道路交通法により、サイレンを鳴らさなければなりません。傷病者の苦痛の軽減と救命を最優先に出動しますので、サイレンを鳴らすことにご理解ください。

News

令和5年度全国統一防火標語

火を消して 不安を消して つなぐ未来

11月9日(☉)から15日(☽)までの7日間、全国一斉に秋季火災予防運動が行われます。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎えた今、予防の意識を高めることで発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生や財産の損失を防ぐことを目的としています。

